

S Y Dかわらばん

＜最新活動情報 No.178＞ 2023 年 10 月 20 日号

主催事業・活動等

9/16～18…「沖縄子ども自然体験キャンプ」70人〔沖縄県渡嘉敷村・国立沖縄青少年交流の家キャンプ場〕
《根岸秋吉、板倉和也、保坂正志》



前回(令和元年)同様2泊3日の日程で、障がい児5名を招待し実施。野外炊事やレクリエーション、キャンプファイヤーなどのプログラムのほか、海洋研修として大型カヌーやスーパーフロートに乗ったり海水浴を楽しむなど、島独特の自然に触れた。



9/16～18…「子どもわくわく自然体験キャンプ」66人〔福島県北塩原村・ぼんたいふれあいびあ〕

《谷野渉、増田航介》



公益財団法人東京都ひとり親家庭福祉協議会、児童養護施設「森の風学園」(福島県)などの参加者募集協力により、定員を大幅に超える申し込みがあった。参加者の9割以上がSYD事業に初参加で、野外炊事やキャンプファイヤーなどが初めてという子も多く、手探りをしながら野外体験を楽しんだ。

日程の最後におこなわれたお別れセレモニーは涙と笑顔にあふれ、お互いに「また会おうね！」と声が飛び交う素敵なキャンプとなった。



9/29…「青年ボランティアゼミナール」26人 〔東京都・SYD会議室〕



今年8月の「青年ボランティア・アクションinフィリピン」の参加者7人が講師を務め、対面とオンラインの形式で活動報告をおこなった。スモークーマウンテンやパヤタスでのホームステイ、マザーテレサの施設「死を待つ人の家」の訪問について報告。

日本から寄せられた支援品を各地で届ける際、支援品を渡せる人が限られているため欲しい人全員に渡せないやるせない気持ちや、逆に子どもたちに元気をもらったことなど、様々な感想を発表した。

毎回、講演後に司会から質問される「講師のみなさんの幸せの種まき」については「感謝、小さなアクション、つながりのサイクルを回していくこと」「この種が相手を笑顔にさせ、巡り巡って自分にも返ってくる」という答えがあった。



しんだ。レクリエーションでは綱引きやボール運びなどで大いに盛り上がったほか、キャンプファイヤーでは各村で趣向を凝らした劇を披露した。

夏と打って変わり10月のキャンプは寒く、季節の移り変わりを実感した3日間となった。



★子どもWAKU×2ひろば

10/7～9…桧原 18人〔福島県北塩原村・ぼんたいふれあいぴあ〕

《谷野渉、増田航介》

「子ども自然体験秋キャンプ」と称して実施。

初日はたき火を囲みながら焼き芋やスモア(マシュマロを焼いて作るデザート)を食べ、2日目は野外炊事で芋煮を作り、秋の味覚を楽

10/7～9…広島 20人〔広島県福山市・福山少年自然の家〕

《板倉和也》



1日目はポイントラリーで山の中のコースを歩きながら、リーダーの出す課題にチャレンジしたり、途中のポイントで「ヤッホー！」と大きな声出しをした。夜には、コースで拾った落ち葉や木の実を空き瓶に詰め、液体のりを流し込んだ「空き瓶スノードーム」作りを楽しんだ。

2日目は野外炊事でカレーを作り、夜にはキャンドルサービスで各村の出し物や歌などで盛り上がった。



伊勢青少年研修センター事業

10/7～9…「房総自然体験交流合宿」17人

〔千葉県館山市・コミュニティーガーデンLEAF&ROOT〕
《武田数宏、山崎政弘》



参加した子どもたちは、テント設営やグループ(村)の旗づくりのほか、近くの海岸で拾い集めた貝がらと木を使ったクラフトを楽しんだ。

また、ビーチクリーン(海岸のゴミ拾い)も合わせておこなうなど、自然に親しみながらも「大切に」心を体験から学ぶひとときを過ごした。



10/15～17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、志村和也、斎田聖生、竹本英美》

※詳細次号

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

報 告

10/3	香川県・私立大手前丸亀高等学校 1 年	90 人
10/18	沖縄県宜野湾市立普天間中学校	190 人
	沖縄県立普天間高等学校 2 年	80 人
10/19	沖縄県那覇市立真和志中学校 1 年	66 人
	沖縄県那覇市立真和志中学校 2 年	60 人
10/20	沖縄県沖縄市立越來中学校	233 人
	沖縄県普天間高等学校ボランティア部	20 人

予 定

10/24	静岡県・私立浜松聖星高等学校 1 年
11/2	神奈川県・私立カリタス女子中学校 1 年

予 定

10/28…「子どもWAKU×2ひろば」(埼玉)〔埼玉
県小川町、東秩父村ほか〕《板倉和也、谷野渉》

11/3～5…「リーダーの集い」〔福島県北塩原村・
ばんだいふれあいぴあ〕《谷野渉、増田航介》

11/11…「チャリティーバザー(幸せの種まき祭り)」
〔東京都渋谷区・SYDホール、玄関前広場〕

会員組織の主な動き

報 告

9/16～17…修養団岐阜県連合会青年部ととし
び会「友愛キャンプ文集編集・反省会」
22人〔岐阜県大垣市・大村公民館〕《真下淳一》



毎年、同会では「友愛子ども自然体験キャンプ」の感想文や写真を文集としてまとめ、スタッフ、リーダー、参加者等に郵送している。

今年も編集作業に加えキャンプの反省会、会場周辺の清掃奉仕作業をおこなった。反省会では、リーダーによるバイオリン演奏などもおこなわれ、和やかな雰囲気の中で進められた。席上、7月にSYD事務局長に就任した真下淳一常務理事があいさつし、キャンプ実施への御礼を述べた。



情報あれこれ

⊗ 武田数宏講師、ブラジル巡講



マリンガでの講演会



マウアーダセーラの日本語学校での特別授業

9月4日～21日、武田数宏講師が修養団ブラジル連合会50周年に伴う同会の招聘を受けサンパウロ州とパラナ州を訪問し、各地で講習会や講演会に臨んだ。武田講師のブラジル巡講は2006年(平成18年)以来17年ぶり。

例年、SYD講師が当地の夏期青少年少女講習会で訪問するマリンガ、マウアーダセーラ、アサイ(以上パラナ州)を訪問したほか、サンパウロ市内での学習会にも臨んだ。

11月11日 「幸せの種まき祭り」 バザー品提供のお願い

〈提供品例〉

- ・日用品(タオル、シーツ、石鹸等)
※未使用品でお願いいたします
- ・衣料品(古着はご遠慮ください)
- ・雑貨(バッグ、アクセサリ等)
- ・電化製品 ・玩具 ・食器 ・野菜
- ・特産品(もち米、お米、海産物、菓子等)

ご提供いただける場合は、お電話、ファクシミリ、Eメール等でご一報ください。

問合せ・連絡先

SYD社会教育部「幸せの種まき祭り」係
TEL 03-3405-5441 FAX 03-3405-5424
E-mail: info@syd.or.jp

ご 案 内

各連合会・クラブから全国各地の連合会・クラブ等(約150ヶ所)へ送付を希望される印刷物(「SYDかわらばん」に同封可能な印刷物)がありましたら、毎月5日までに社会教育部までご相談ください。

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail: info@syd.or.jp
ホームページ: <https://syd.or.jp/>

SYD

検索